

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271500397		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート茂原 ユニット1		
所在地	千葉県茂原市高師2144-11		
自己評価作成日	令和5年2月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube		
訪問調査日	令和5年3月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大防止のため日々感染症対策を徹底し、お客様・職員の健康維持に努めています。 ・外出自粛は続いておりますが、事業所近辺の散歩は行っています。 ・行事食は季節を感じられるような工夫をし、特別メニューを提供しています。 ・お客様ごとの状態を考慮し、生活歴や嗜好を取り入れたレクリエーションを行っています。 ・日々の申し送りや毎月の拠点会議で情報を共有し、職員研修も毎月行いスキルアップを図っています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>コロナ禍で全体での外出行事や地域行事への参加などは難しい一年となりましたが、ホーム内では季節の行事、利用者の誕生会、食事レクやおやつ作りなどを通してホーム内でも楽しく生活が送れるように工夫しています。ホームの敷地内に畑をつくり野菜栽培にも力を入れています。畑で収穫した野菜を食事のメニューに取り入れることも利用者の楽しみの一つになっています。日々の活動についてはホームページ上のブログを通して発信し、面会を控えている家族の方にもホーム内での生活の様子が伝わるように配慮しています。今後は感染症の状況を見て外出や地域との交流を再開していくことなども検討しています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の社是、サービス宣言を踏まえ、事業所の「せんろはつづくよどこまでも」をサービスローガンとしてスタッフ全員共有している	会社の社是、サービス方針、サービス宣言を拠点会議時に唱和するほか、事務所、職員の休憩室等に掲示し常時確認できる状態にしています。またホーム独自に「せんろはつづくよどこまでも」をローガンに掲げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事食やおやつを地域のお店から取り寄せ、定期的に自治会のゴミステーションの清掃を行っている	今年度はコロナ禍の影響もあり、地域行事も中止となり地域との積極的な交流とまでは至っていませんが、地域の商店を買い物で利用し交流を継続するほか、コロナ禍収束後は交流範囲を拡大していくことも検討しています。	コロナ禍収束を見据えて、地域との交流を今後どのように進めていくかについても検討し、地域との交流が少しずつ前進できるとよいと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時、介護相談を受け付けている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の影響で書面会議を行っている。お客様の状況、活動報告をして、市の職員、民生委員、近隣の住民から意見、アドバイスを頂き、情報共有、意見交換を行っている	運営推進会議は2ヶ月に一度実施しています。今年度はコロナ禍のため書面開催の形式で実施しています。利用者の状況、活動状況、研修報告、今後の予定、関係機関から事前にいただいた意見や質問に対する回答を議事録にまとめています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあれば随時連絡し、相談やアドバイスを頂いている。運営推進会議でも報告を行っている	運営上相談事が生じた際には、市の担当課へ連絡を入れて適切な指示を仰いでいます。今年度は新型コロナウイルス関連で連絡を取り合い感染対策の徹底につなげています。また生活保護受給者の件なども必要に応じて担当課へ連絡を入れていきます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面を考慮し玄関の施錠は行っていません。身体拘束の研修を年2回行っており、身体拘束を必要としないケアに取り組んでいます。	毎月ホーム内で身体拘束廃止委員会を開き不適切な対応の発生が無いかについて定期的に確認しています。また、ホーム内のオンデマンド研修を通して身体拘束廃止に向けた研修も行い職員一人一人の意識を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修、新人研修で虐待することによる弊害を学び防止に努めている		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修を行い、権利擁護や成年後見人制度の知識を学んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご利用者様とご家族様に丁寧に説明を行い、疑問点や不明点を残さないように努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にご家族様アンケートを実施し、意見を聴取し改善に取り組んでいる。日々お客様の様子や状態を観察し、意見、要望をくみ取り改善している	家族からの意見や要望等については面会時や電話連絡時、外部評価の家族アンケートを通して確認しています。利用者からは日常会話から収集し、食べたい物やホーム内で取り組みたいことなどを丁寧に確認して日々の生活に反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段から風通しの良い職場づくりを目指し、意見を言いやすいようスタッフとコミュニケーションを図っている、また年に2回個別に面談を行っている	上期と下期の年2回、管理者が職員と個別面談を実施して意見や要望を確認しています。個別面談以外にも日常的に確認するほか、会議時などにも確認して業務や支援の見直しにつなげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度(年2回)を行っており、個別に目標を立ててもらい、自己評価と客観的評価を行いスキルアップに取り組んでいる		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、リーダー、新卒等の職員研修を本社主導で行っている。ほめ達研修も年2回行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	営業を兼ねて同業者と交流し、情報収集や意見交換を行っている		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居する前にできるだけご本人やご家族の要望や背景を把握し、情報をスタッフ間で共有し、混乱しないで生活が送れるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	グループホームの特徴をご説明し、「できること、できないこと」をしっかりと伝え、ご本人、ご家族が望んでいるサービスを提供できるようプランを作成する		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービスの種類や利用料をお知らせし、入居型サービスの対象者など判断材料の提供を行う		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や食事の準備をしたり、できることはご自身で行ってもらい、日常生活を共に行うことで信頼関係を築く		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お便りを発行し、日常生活の写真を同封しています。ご家族の関わりを大事にもらい、協力しながらご本人の生活を支えていくよう努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の影響で制限はありますが、感染対策を行ったうえで面会は可能です。手紙を渡すなど関係を維持する支援は行っている	馴染みの人や場所との関係継続に向けて、コロナ禍により馴染みの場所への外出は難しいですが、友人等との年賀状のやり取りを通して関係性の継続に努めるほか、お正月には一時帰宅し家族と過ごし関係性が継続できるように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士が交流できるような場を設け、よりよい関係が築けるよう支援している		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も気軽に連絡いただけるよう声掛けをしている。必要に応じ相談、支援のフォローもしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中からご本人の希望や意図をくみ取るよう努めています。困難な場合はご家族様と相談し本人本位の支援ができるよう努めている	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、関係者から今までの生活歴を伺い、これまでの経過の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お客様一人一人を観察し、状態の把握につとめている。小さな変化でも、スタッフ間で共有できるよう個人記録や連絡ノートで申し送りを行っている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の要望を踏まえつつ、主治医、看護師、関係者と担当者会議等の場で話あいプランを作成している。スタッフの意見も参考にしている	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎短期目標を更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様の様子、状態を細かく個人記録に残し、スタッフ間でその情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービス以外でもお客様、ご家族の要望にできるだけ応えるよう努めますが、できない部分は説明し理解してもらい		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で交流は少ないが、できるだけ地域資源を把握し活用できるように努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関があることを入居するときに説明し、ご本人、ご家族様の要望にそってかかりつけ医を選択している。協力医療機関の紹介で専門医の受診をすることもある	提携先のクリニックによる往診を通して主治医と連携を図っています。往診以外にもスムーズに連絡が取れる体制を築き、利用者の体調変化時にも速やかに対応できることで、必要時に必要な医療を受けることができる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の主治医同様、看護師にもお客様の様子、状態を報告し適切な対応がとれるよう努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には地域医療連携シートを提出し、お客様の情報共有に努めている。退院時もカンファレンスを行いお客様の退院後のケアに関する注意事項の把握に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の在り方についてはできるだけ早い段階でご本人、ご家族と話し合い、主治医の意見もまじえ、今後のケアにむけて方針の検討を行う。事業所の「できないこと」を説明し関係機関と協力していく	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は社内研修で緊急時の対応、事故発生時の対応について学んでいる		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っている(1回は夜間を想定したもの) スタッフは避難経路や消火器の位置を把握しいざという時対応できるようにしている。運営推進会議でも避難の協力をお願いをしている	避難訓練は年2回計画しており、通報・避難・消火訓練を7月に実施したほか、2月に座学で夜間想定訓練を行っています。水害状況についてもハザードマップで確認しています。備蓄品についてもホーム内に完備しており、消費期限なども適宜確認して必要時に確認できるようにしています。	今後に向けては、作成義務となった事業継続計画(BCP)についても段階的に準備を進め作成し、災害発生後における運営方針の明確化を期待します。

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様一人ひとりの人格を尊重し、プライドを傷つけないよう努め、羞恥心に配慮してサービスを行っている。声掛けし説明してからケアを行うよう努めている	利用者に対して不適切な対応にならないように、ホーム内でも接遇やプライバシー保護についての研修を取り入れ職員の意識を高めています。日々の支援も各居室への入室や利用者への言葉遣いなど職員一人ひとりが注意を払っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望(やりたい事、できる事、行きたい場所、食べたい物)を尊重し自己決定できるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせてサービスを行い、無理強いはいないようにしている。声掛けを工夫したり、時間をずらしたりしてご本人が納得してからサービスを行うようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類は自分で選んでもらっている、また季節や時分に合った衣類を提案している。2ヶ月に1回訪問理容を利用している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳や茶碗・お盆拭きなどできる方には行ってもらっています。おやつや食事作りにもできる範囲で手伝って頂き、自分で作ったものを食べる喜びを感じてもら	食事の準備や後片付けなどは利用者に声をかけ職員と一緒に準備等を進めています。日々の食事は湯煎タイプの食材を使用していますが、畑で育てた野菜を食事メニューに取り入れたり、季節ごとの行事食なども提供し食の楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した食事を提供させて頂いています。水分は1日1500cc摂取を目安としている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと就寝時に入れ歯の洗浄を行っている。必要に応じて訪問歯科の受診、アドバイスを頂いている		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握して、トイレ誘導を行っている。布パンツの方もいる	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることができ、排泄の失敗などを防ぐことができます。排泄状況はタブレット端末を使用してデータを入力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促し(1日1500cc)、体操や運動を行っている。排便スケールを用い、便の状態や間隔を観察し主治医にアドバイスを頂いている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	予定の曜日や時間はありますが、希望にそって臨機応変に対応している。冬至にはゆず湯など季節のお風呂を楽しんで頂いている	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。入浴中はマンツーマンでの対応のため利用者とのコミュニケーションを深める時間にもなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースで過ごして頂き、居室の温度や明るさにも気を配り、寝具やパジャマに着替え安眠できるような環境作りを行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医や薬剤師の指導のもと、服薬介助を行っている。体調の変化に応じて主治医や薬剤師に都度相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	草取りや掃除、洗濯物たたみ等一人一人にあった役割をお願いしています。レクリエーションも将棋やパズル、カラオケ等個々に楽しめるものを用意している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で外出は控えていますが、天気の良い日に事業所の回りを散歩しています。今年は近所の神社に初詣に行きました	コロナ禍の影響もあり、全体での外出や地域行事への参加などは難しい状況ですが、気候の良い日には少人数で散歩に出かけるなど気分転換を図っています。今後は感染状況を見て、外出行事なども少しずつ再開させたいと考えています。	

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いをお預かりしており、購入したいものがあるときは、そこから支払いをしている。ご家族に購入したものの明細や残高を毎月お知らせしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人、ご家族の希望にそって支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃、消毒を行い清潔の維持に努めている。季節感を感じられるよう、装飾を工夫している	季節に合わせた装飾品を作り掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。掃除も日々徹底するほか毎週大掃除の時間を設けて整理整頓も徹底しています。消毒、換気もこまめに行い、感染予防対策も徹底しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂を共有スペースとしており、自由にくつろげる空間を提供している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や使い慣れたもの、思い出の品を持ち込んで頂き、自宅にいた時と変わらず居心地よく過ごせるよう工夫している	居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できることは自分で行ってもらえるよう職員は見守り、自立支援を促している。トイレの案内を表示するなどわかりやすくしている		